

# 京都市・乙訓地域の 公立高校入試制度と通学圏

## ちょっと待って! なんて変えるの!?



京都府・市教育委員会は「京都市・乙訓地域の通学区域・選抜方法」の改善の基本的な考え方を発表しました。

1. 通学区域を現行の4通学圏から2通学圏にする
2. 総合選抜制度は継続し、部活動・特別活動などによる希望枠を拡充する
3. 通学圏を越えて生徒の希望を生かすシステムを導入する
4. 受験機会の複数化を図るとともに多角的な評価尺度による選抜を導入する



2009年度入試(現・中学2年生対象)以降に適用が予定されています。

## ねらいは、いっそうの競争と格差づくり

### 競争で学校生活もズスタ

現在、山城や口丹以北の通学圏で、『受験機会の複数化』や『多角的な評価尺度による選抜』の具体化である「前期特色選抜」が導入されています。これは、山城通学圏の実態を見れば明らかかなように、結局は成績がよく、部活動や特別活動を熱心にやっている一部の生徒のみを青田買的に早い段階で取ってしまう高校側の発想から導入されました。結果、多くの生徒が不合格を体験し、中学校生活や友だち関係、その後の高校生活にも影響を与えています。

「通学圏の統合と単独選抜を中心とした選抜制度の見直し」という教育行政の思惑を前提にはじまった議論。山城通学圏の例を見ても通学圏拡大・入試制度改変は、競争入試に拍車をかけ、子どもたちを今以上に追い込むことが目に見えています。

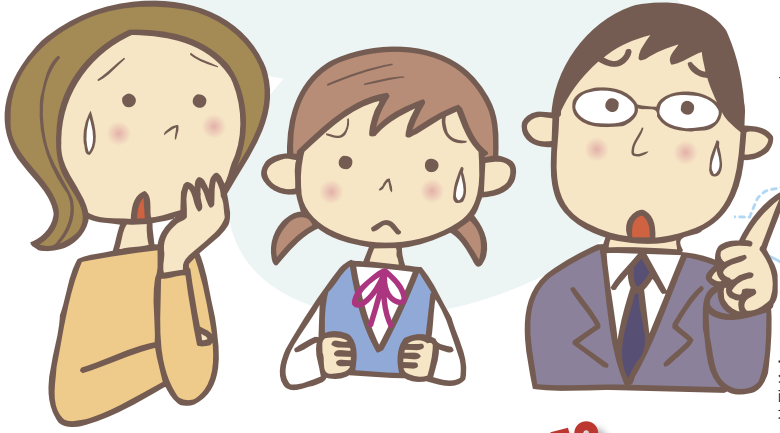
### 実質1通学圏で格差拡大

通学圏を越えて選べるシステム導入によって、実質的に1つの通学圏と同じはたらきをもたせ、より「学力」が高い中学生を特定の学校に集めることが可能となります。通学圏の拡大は、より公立高校の格差を拡大し、序列化を加速させることにつながります。

先に高校制度改革を導入された山城地域では問題がたかくさんでてるのに...

**山城通学圏 制度改革の現状**

詳しくは裏面をご覧ください。



不安や疑問がいっぱいあるのに

## 強引な「改革」には納得できません。

希望するすべての子どもたちに高校教育の機会の保障を!!

子どもたちの入試制度 もっとじっくり考えたい



アンケートハガキ

あなたの声をお寄せください。

どの地域に住んでいても、地元で一定水準の教育が受けられるのが、公立高校普通科の役割です。今、求められているのは、競争や格差を広げることではなく、希望するすべての子どもたちに高校教育の機会を保障する方向での入試制度改革です。

子どもと教育・文化を守る京都府民会議  
連絡先・京都教職員組合 〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町 4-13

tel.075-752-0011  
fax.075-751-1091

# 「高校制度改革」実験場にされた山城通学圏では…

## 行きたい高校に行けると 言われていたのに…

京都府教育委員会は「中学生から選ばれる高校づくり、希望する高校を選べるシステムづくりをめざして」として高校入試制度の改変を強行し、高校再編・統廃合を強引に進めてきました。それによって中学生や中学校・高校に、そして小学生以下の子どもの子育てにも様々な影響（問題）が起こっています。



「行きたい高校が選べる」3つの制度改革  
(2004年度入試制度から)

1. 大学区制に  
・山城北通学圏(5校)と南通学圏(7校)を1つに統合(12校に)
2. 総合選抜から完全単独選抜へ  
(I類・II類は一括募集)  
・第1順位から第3順位まで希望でき、そのうえで「どの高校でもよい」が希望できる
3. 入試の多様化  
・3段階(前期・中期・後期)入試で受験機会を複数化  
・前期特色選抜は中学校の内申書、面接、作文、自己申告書で選抜

### 「行きたい高校選び」 ではなく、 「受かる高校選び」

子どもは近くのA高校に行きたいって言うの。でもね、3者面談で「第3希望ならどうにか…」なんて先生に言われて。結局受かりそうなB高校を受験させました。  
(保護者)



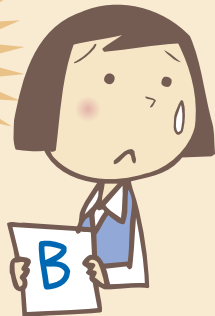
### 高校間の格差拡大、 ランクが明確に

生徒同士が「なんでA高校なんて受けるんや」とか「B高校はレベルが低い」などと言い合っています。中学校生活最後の年なのにクラスの雰囲気がバラバラになってきて指導が難しい。(教師)

## 格差 拡大



### ランク 付け



### たくさんの 不合格経験者を 生み出す制度

難しいかなあとは思ってたんだけど、勉強だけで判断しないって言われてたし挑戦したんだ。結局、不合格。試験がどこで判断されたのかいまいち分からないし、自分が否定されたみたいでショックだったな。一般選抜に向けての勉強にしばらく手がつかなくて…。  
(高校生)

### 「受験競争」が激化し、 進学塾へ通う 小・中学生が増加

「希望の高校へ行きたかったら、小学生の頃から目標持って勉強しないと!!」なんて塾の広告をお母さんが見て、無理やり行かされるの。もっと友達と遊びたい。  
(小学生高学年)

## 高校 減らし

西宇治と城南(09入試より城南菱創)、八幡と南八幡(07入試より京都八幡)が合併統合。

### 地元の普通科の 公立高校が2校なくなる

統廃合されることで2校がなくなり、高校への道がまた狭くなりました。新しくできた高校は大学進学コースで成績がいまいちの子は行きたい高校が選べない悲しい現実。「50年も伝統のある学校を勝手につぶすなんてひどい」「生徒への統合アンケートでも統合反対者が大多数だったのに」。府教委はこんな声を無視して一方的なトップダウン方式で再編を強行しました。

### 不明確



### 受験競争 激化



### 受験料増加。 交通費は自分でバイト。

私立併願の受験料だって結構な負担。遠くの学校になったら定期代だけでひと月13,910円も。「交通費は自分でバイトしてもらわないと。」って親に言われた。部活は時間的に無理かなあ。(高校生)

京都市・乙訓  
地域で同じよ  
うな事態にな  
りかねない!?

山城通学圏で  
起きたことを、  
ちゃんと検証  
してほしい!

### 教育費 負担増

